

発見かんづま

— 北から南から —

西九州大学

平成19年4月より リハビリテーション 学部を新設

西九州大学は、脊振の山系を背に、吉野ヶ里の遺跡を眼下に、春は桜、5月は若葉、秋は紅葉と風光明媚な土地に、昭和43年4月に



西九州大学 外観

人間の「健康と福祉の探求」をテーマに「佐賀家政大学」として開設し、昭和49年に「西九州大学」と名称変更し現在にいたっております。

この間、多くの卒業生を送り出し、卒業生は、地域の、栄養、福祉の分野において専門職として活躍しております。また、平成19年4月にはリハビリテーション学部を新設し、社会に貢献できる理学療法士及び作業療法士の養成を行い、地域医療の向上に寄与できる保健医療分野を含めた総合大学を目指しております。

JR神埼駅からスクールバスも運行しておりますので、学生はもとより、地域の方々も気軽にお出かけになり、大学の施設を見学してください。

編集後記

市の舵取りも大変だ。脊振の田植えシーズン、雨足らず雨乞いのお願ひ。かたや千代田では好天に恵まれ、麦の絶好の収穫、雨いらず。しかし、六月に入って恵みの雨、それも六月五日の大雨、千代田の南部では冠水、施設園芸に大きな被害をもたらした。

そういった中、今回は合併一周年を記念して「私の神崎市」をテーマに市内在住の三人の方に座談会を企画致しました。愛読よろしく。

〈古賀、記〉

広報委員会

	委員長	福田 清道
	副委員長	角田 晴義
委員	白石 昌利	
//	田原 和幸	
//	古賀 安行	